

1 計画策定の背景

本県の道路は、「広島県道整備計画（S57）」以降、数次に渡る整備計画により着実な整備を進めてきました。平成26年度には中国横断自動車道尾道松江線などの完成により、本県道路網の骨格となる井桁状の高速道路ネットワークが完成する予定となっています。

しかし、都市部の渋滞や、市町村合併に伴う中心地へのアクセスなど、克服すべき課題も多く、「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す県土の将来像を実現するための重要な基礎インフラである道路整備を、引き続き進めていく必要があります。

さらに、施設の老朽化等といった新たな課題にも適切に対応するため、「社会資本未来プラン」で示された社会資本マネジメント方針に従い、道路分野の整備計画である「広島県道路整備計画2008」を改訂し、「広島県道路整備計画2011」を策定しました。

2 上位計画の概要

ひろしま未来チャレンジビジョン ～県民の力とイノベーションで未来をつくる～

■策定年月 平成22年10月

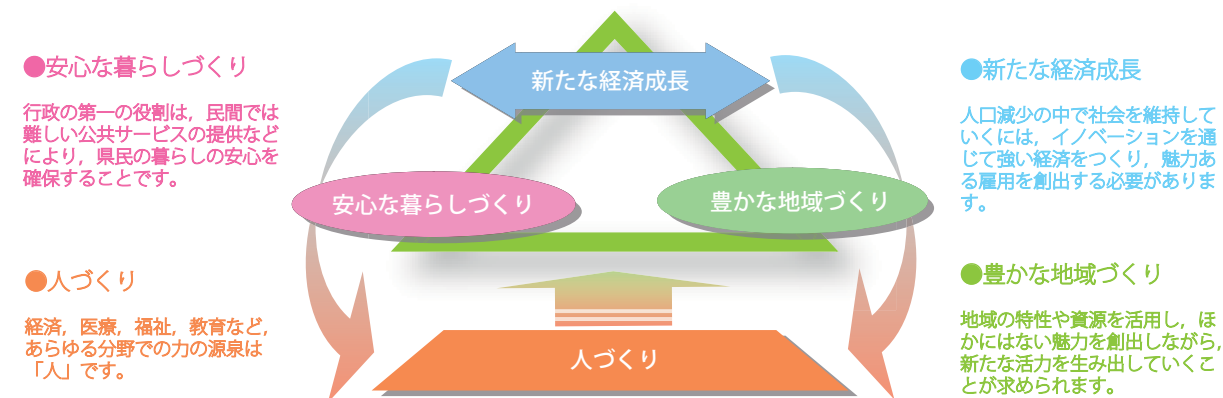
■基本構成 おおむね10年後を展望し、現在本県が直面している課題や今後深刻な影響を受けるおそれがある問題に対して有効な手立てが講じられない場合に予測される将来を明らかにしたうえで、県民みんなで目指す姿（将来像）を描き、これを実現する取組の方向や戦略を示したものです。

■基本理念 将来にわたって「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県の実現

■目指す姿の実現に向けた4つの挑戦

「人づくり」、「新たな経済成長」、「安心な暮らしづくり」、「豊かな地域づくり」の4つの分野ごとに「目指す姿（将来像）」を掲げ、本県の「強み」を最大限に活かして様々な「挑戦」を行います。

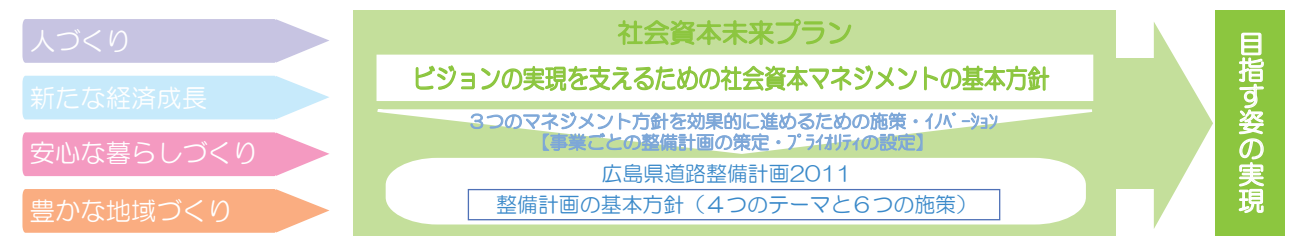
4分野の循環概念図



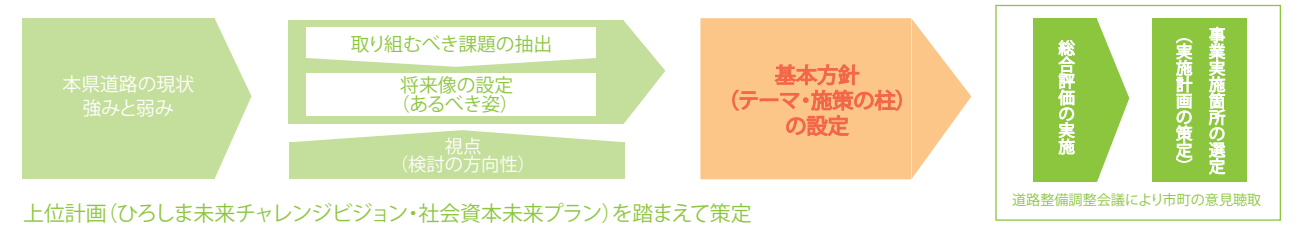
■4つの挑戦を具体化し推進する上での視点

- 1 「強み」を生かした活力の創出
- 2 「イノベーション」による新たな価値の創造
- 3 「グローバル化」への的確な対応
- 4 「県民主体」の新たな広島県づくり
- 5 市町及び近隣県との「連携」

ひろしま未来チャレンジビジョン ～目指す姿の実現に向けた4つの挑戦～



広島県道路整備計画2011の策定の流れ



社会資本未来プラン ～戦略的な投資とマネジメントの最適化～

■策定年月 平成23年3月

■策定の趣旨 「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す県土の将来像を実現するため、土木局・都市局が担う今後の社会資本マネジメントの基本方針を定めたものです。

■プランの期間 プランの計画期間は、広島県総合計画「ひろしま未来チャレンジビジョン」が、おおむね10年後を展望して策定されたものであることから、10年間（平成23～32年度）とします。

■基本構成

